

## たかが4位・・・されど4位！頑張ったんです！



町 PTA の親睦球技大会が 10 月 30 日（日）に、農業者トレーニングセンターで行われました。

勢和・多気中校区の 8 校（射和小学校を含む）、が参加してのビーチボールバレーの大会です。

当日までに、7 月・9 月・10 月と練習を重ね

てきました。また、中には有志の方で年間通して練習をしていただいていた方もみえました。

今年は、大会直前に急きょ「おそろいのユニホーム T シャツを作ろう」ということになり、爽やかなコバルトブルーのユニホームが出来上がりました。あくまでも目的は親睦ですが、昨年度より上位をめざすという目標で練習にも熱が入り、4 位という結果を得ることができました。惜しくも 3 位入賞は逃しましたが選手やサポートの保体部・本部の方々と喜び合いました。

練習と反省会（打ち上げ会？）のチームワークでは 1 番だったと確信しています！！

簡単なルールで、誰でも参加でき、柔らかいビーチボールで痛くないので、来年はさらに新しいメンバーもどんどん入っていただけたらと思います。

### ◆◆◆インフルエンザの予防について◆◆◆



「インフルエンザ予防対策について」は先日のお便りで連絡させていただいたところですが、本校においても風邪や発熱による欠席者が増えつつあり、インフルエンザと診断されるお子さんも出てきました。ご家庭でも手洗い・うがいをして、十分な睡眠・栄養を取るようにしてください

#### ○スクールバスでは…

11 月 17 日よりバスに乗車中は必ずマスクを着用します。マスクを持たせてください。マスクを忘れた場合は、学校で貸し出します。（後日、貸し出したマスクの補充をお願いします）

#### ○インフルエンザかな…と思ったら

インフルエンザは、風邪と比較して、『38 度以上の高熱』『全身のだるさ』『関節の痛み』『筋肉痛』が全身に強く出ることが多いものの、A 型 B 型の違いや、個人差で症状も違います。必ず医師の診断を受けてください。

#### ○インフルエンザにかかってしまったら…

- ・インフルエンザと診断されたら、学校に連絡をお願いします。その際に、医師の診断（わかっている場合は A 型か B 型か、何日間の休養が必要か等）も教えてください。
- ・休養中は欠席扱いにはならず、出席停止になります。（学級閉鎖になった場合は、その間は全員が出席停止の扱いになります）
- ・登校は「発病後 5 日を経過し、かつ、熱が下がった後 2 日を経過」してからを基本としますが、お子さんが元気になっても医師の指示に従ってください。

ご理解。ご協力をよろしくお願いたします。

# 11月末～12月行事予定 12月

11月

- 1 9日(土) 土曜授業日・学習発表会
- 2 2日(火) 1年生社会見学(鳥羽水族館)
- 2 3日(水) 勤労感謝の日
- 2 4日(木) 5年生社会見学(鈴鹿サキット・本田技研)
- 2 9日(火) 4年生防災タウンウォッチング(午前)
- 3 0日(水) ノーメディアデー



- 2日(金) 登校指導
  - 5日(月) 下校指導
  - 1 6日(金) ノーメディアデー
  - 1 7日(土) 土曜授業日・防災学習・緊急時対応訓練
  - 1 9日(月) 個別懇談会(希望者)
  - 2 0日(火) 個別懇談会(希望者)
  - 2 1日(水) 給食最終日、大掃除(5限目)
  - 2 2日(木) 全校集会、3限授業
  - 2 3日(金) 天皇誕生日
- 冬休み: 12/23～1/9(18日間)

## 校長のつぶやき



◇▽○■\*※□△◆  
△□・・・?



先日、String Work2016 autumn と題した、弦楽器の展示会の案内のハガキが家に届いていました。

送り主は「加藤穂高」さん。「先生、ご無沙汰しております・・・僕の最初の楽器製作の師匠の展示会です。ご都合よろしければお越しく下さい」といった内容でした。

26～27年前になるのでしょうか。私は彼を直接担任したわけではなく、彼の妹を1・2年生の時に担任して、お母さんを通じて彼の活躍を知っていました。彼はおとなしい感じの高学年の子でした。よく覚えているのは、5泊6日のキャンプ(なんとこんな長期キャンプをする学校もあったのです…)で、一緒の班だったくらいです。

彼は、木工家具職人を志した後、海外のロバートベンという有名な弦楽器専門の職人養成学校に入学。卒業後、米大手ギターメーカーのカスタムショーモデル・インレイを手がけるようになり、「知る人ぞ知る」日本を代表する凄腕の若手インレイ作家です。(ネットで「ググって」みてください)

「インレイ」というのは、「螺鈿(らでん)」と言った方が馴染みがあるかも知れません。楽器に施す貝細工のことです。(↑上の写真)

1時間ほど昔話に花が咲いた後、最近買った私のギターの調子を診てくれることになりました。彼はなぜか真っ先にホール(ギターの音の出る穴)に顔を近づけてくんくんと匂いを嗅ぎだしました。「先生、このギターアメリカのモンタナ工場で作られていますね」「匂いでわかります。僕この工場修行してました」こんな、偶然があるものなのでしょうか?「ギターの状態はいいですよ。気になったら僕がいつでも直します。任せてください。」「妹にも先生と会ったこと知らせなきゃ!」

私は固い握手と二人で記念写真を撮って津の展示会場を後にしました。

改めて思ったのは、人間の五感ってすごいんやな～ということです。そして、かかわった子どもたちが頑張っている姿を見るのは、自分のことのように何よりの幸福感を感じます。

実は、その1時間後もっと驚く事件がありました。私はその後、白山町であるコンサートを聴きに行きました。会場につくと、もう大勢の人でにぎわい、列に並んでいると、突然、運営スタッフの一人の女性が近寄ってきて、「あの～ひょっとして達せんせ…」「あっそうですが…」なんと、さっきまで会っていた加藤穂高さんのお母さんでした。これも26～27年ぶりの再会でした。

さっそく2人で写真を撮って「穂高」にサプライズメールしたのは言うまでもありません。

大袈裟ですが、人の「幸せ感」って人とのつながりの中にあるような気がしてなりません。